

## 交換留学(派遣) 近況報告書

留学先での生活はいかがですか。本報告書は以下の目的のために使用されます。

- ① 皆さんの近況等を把握するための資料です。何か困ったこと等があれば、本報告書に限らず速やかに教務係までご連絡ください。  
② 留学を考えている後輩達のための有益な資料となります。留学経験を共有するために、ぜひご協力ください。



本報告書は写真データと共に提出してください。(提出締切日12/5)

あなたの情報(本報告書を開覧する際には、あなたの氏名、学籍番号、メールアドレスは公開されません)	
留学先大学:	university of gothenburg
留学先での所属学部・研究科:	経済学部
留学先での在籍身分:	exchange student
留学期間:	1年間
神戸大学での所属学部/研究科:	経営学部
学年(出発時):	3年
本報告書記入日:	2023/11/29

## 1. 出発前について

1-1	交換留学以前に海外留学の経験はありますか。 「はい」の場合、留学先及び留学期間を記入ください。	いいえ
1-2	この留学プログラムを最初にどのように知りましたか。 その他を選択した場合、記入してください。	神戸大学のホームページ
1-3	このプログラムに参加した動機を教えてください。	最もよく当てはまるものから順に4つまで選んで順位をつけてください。(1:最も強い動機)
	学術的な目的(研究を深めるなど)	1
	語学力の向上	4
	プログラムの時期がちょうど良い	
	プログラムの長さがちょうど良い	
	かかる費用がちょうど良い	
	地理的な条件が良い	
	将来のキャリアのため(就職に役立つなど)	3
	家族のバックグラウンドと関係がある	
異文化を体験したい	2	
その他(具体的に記入)		
1-4	出発前にどのように情報を集めましたか。参考になる本やホームページがあれば記入してください。	実際に留学していた人のyoutube、大学の公式アカウントのインスタグラム
1-5	VISAについて	
	VISAの種類:	居住許可
	申請先:	スウェーデン移民局(オンライン)
	必要日数:	2ヶ月
	VISA取得にかかった費用:	東京への交通費、申請自体は無料
	VISA申請のために求められた書類:	パスポート、銀行残高証明、入学許可証、海外保険加入証明
その他、VISA申請の際のトラブルや、注意すべき点があれば記入してください。	銀行残高についての項目で移民局の方から指摘を受けたので余裕を持った残高を入れておく と良い。また東京にある大使館の方にパスポートを提示しに赴く必要がある。	
1-6	出発前に必要とされた予防接種の種類・回数・費用	なし
1-7	大学で加入するOSSMAと上乗せ海旅以外に加入した保険があれば教えてください。 また、現地で加入した保険があれば記入ください。	なし
1-8	その他に必要な手続き、方法、料金等	携帯のsimなど。

2. 留学先到着後の手続きについて		
2-1	到着時について	
	利用旅行会社(航空券の手配をした会社):	Thai Airways International, Lufthansa airline
	到着空港名:	GOT-Landvetter airport
	空港到着時間:	am 9:30
	到着地からの移動手段:	大学手配の出迎え
	移動の所要時間・料金:	30分程度、無料
	到着地からの移動で注意する点があれば記入ください。	出国ゲートからすぐのところ係の人が立っているの迷わずに合流することができた。手配のバスに乗り、学生センターへ。寮の鍵やパンフレットをもらい、そのままバスに乗りしそれぞれの寮まで送迎。
2-2	住居について	
	住居のタイプ:	大学寮
	その他を選択した場合、記入してください。	
	住居(寮、アパート)の名前:	Helmutsgatan
	部屋の種類:	一人部屋
	その他を選択した場合、記入してください。	
	ルームメイト:	リストから選択してください
	その他を選択した場合、記入してください。	
	住居の探し方:	大学の斡旋
	その他を選択した場合、記入してください。	
大学までの通学時間・手段:	トラムで30分、自転車で20分	
住居の周りの環境はどうか。	スーパーが徒歩3分。トラムの駅は徒歩1分。部屋はオロフという別の寮よりも暖かく、広い。パーティの会場になりがち。	
毎日の食事はどうしていますか。	基本的には自炊し、サラダボウルやサンドウィッチを買って済ますことも。外食は日本の1.5-2倍とあまり経済的ではない。旅行先では3食ケバブになることも。	
住居は渡航前に、または渡航後すぐに見つかりましたか。トラブルはありませんでしたか。	渡航前にすぐ見つかり、現地に着いてからも鍵の受け取り、入居とスムーズだった。	
2-3	留学生向けオリエンテーションについて	
	留学生向けオリエンテーションの有無について:	有り
	参加義務について	必須
	参加費用:	無料
	有料の場合、金額:	
オリエンテーションの内容を記入してください。	学校での過ごし方、student portalの使い方、学術的な研究をするための注意。健康面の注意(特に北欧特有の日照不足からくるもの)	
2-4	その他、渡航してから必要な手続きについて	
	現地で滞在許可申請は必要ですか。必要な場合、申請方法、料金、取得に係る日数等を記入してください。	必要。無料。移民局の方へ赴き、顔写真と指紋を提出。2週間ほどで在留カードが郵送。
	その他、現地到着後にした手続き(健康診断、予防接種等)があれば、方法、料金等を記入してください。	特になし。

3. 語学力向上のためのコースについて		
3-1	語学力向上のために、大学等のコースに参加しましたか。参加した場合、大学(語学学校)名、コース名、料金、期間等を記入してください。	スウェーデン語の授業が留学生向けに開講されており、抽選でとることができる。開始と同時に登録ボタンを押さなければ、通らないほど倍率が高い。

4. 大学の授業について		
4-1	履修登録について	
	履修登録の時期:	出発前
	履修登録の方法:	オンライン
	その他を選択した場合、記入してください。	
	登録時に留学生として優先・配慮はありましたか。	有り
	優先・配慮があった場合、具体的に教えてください。	専用のコースリストが作られており、手順がメールに記載されていた。
希望通りの授業が履修できましたか。	はい	
希望通りの授業が履修できなかった場合、その理由を教えてください。		
4-2	現在までに履修している授業について記入してください。	<a href="#">クリックで別シートへ</a>
4-3	一週間のスケジュール(授業時間、課外活動等、毎日の生活)を記入してください。	<a href="#">クリックで別シートへ</a>

**5. 現在までの感想を自由に記入してください。(800字～)**

1.学業や学校生活について:授業形態は非常にオープンな雰囲気であり、授業中に生徒から質問することも多い。レポートや試験に関してはレジュメなどを見した時に重要なところが見定めできないため時間をかけていくしかないのが現状。クラスメートも同じ境遇の留学生なことが多く、さまざまなバックグラウンドを持った人たちが集まる。

2.日常生活について:スウェーデンの生活様式に適應する工夫は特にしていないものの、日照時間が極端に少ないことと寒さが特徴である。11月時点で15時半に日没するため、ビタミンDをみんなサプリで接種している。またスウェーデンは環境への取り組みで世界のトップを走る国であり、日本で見ると捨てるプラスチック製のものほとんどが紙で代用されており、エコバック率もとても高いと感じる。環境について学んでみたい人には強くオススメしたい。現地の食べ物や食習慣の変化:IKEAなどに代表とされるスウェーデン料理は甘塩っぱいような味が病みつきになる。基本は自炊であるものの、外食の際にお米という選択肢がほとんどないことがこんなにも不便であるのか。旅行などに行くと3食を全てケバブに持ってかれることがある。

3.楽しみや趣味:スウェーデンでのアイスホッケーは阪神タイガースのような立ち位置で、地元のプロチームの応援は熱が入り白熱した試合になる。また地元のビールやパブでの交流。外国のビールはとても飲みやすく、日本のような苦味や渋みを感じないためお金を気にしなければ無限に飲むことができる。パブの前には必ずセキュリティが立っており、身分証の提示が必要。しかしスウェーデンではアルコール度数が3.5%以上のものは国有店の酒屋に行かなければ売れない決まりであり、スーパーには%以下のものしか売っていない。悲しい。

4.旅行体験として:留学生活中での旅行ではスウェーデン国内以外にも様々な国への旅行もできる。具体的にはストックホルム、ドイツのベルリン、ミュンヘン、ハンガリー、ラトビア、クロアチアなど。それぞれの文化や名物と歴史背景も共に学ぶことができ、非常にいい経験ができていていると感じる。

5.言語力と学び:英語に関しては日常生活、会話であればほとんど不自由ない。ただ学術的な用語が出てくる授業やグループでのディスカッションになると難しさが高まる。スウェーデン語も少しずつ勉強を初め、最近はコーヒーをスウェーデン語で頼めるようになった。嬉しい。また異文化理解も肌で感じる事ができる。留学生の中には北欧やヨーロッパだけでなく、インドや中東系の生徒もおり、交流によって異文化への理解が一層深まった。異なる文化や言語の違いを直接体験することで、共感性が養われ、互いの視点や価値観を尊重する重要性を痛感した。異なる背景を持つ人々とのコミュニケーションや協力が自分に世界に求められていると感じた。

**6. 留学経験の共有について**

**あなた自身の写真や大学キャンパス等の写真があれば、ぜひ報告書と共に提出してください！**

6-1	あなたの報告書の一部を引用して、本学の印刷物やウェブサイトに掲載することに同意しますか？	はい
6-2	あなたの写真を本学の印刷物やホームページに掲載することに同意しますか？	はい
6-3	学部のウェブサイトに報告書を記載します。留学を検討している経営学部生があなたに連絡を取る事に同意しますか？	はい

4-2 現在までに履修している授業について記入してください。

No.	コース名	教授名	時間数/週	留学先での単位数	授業での使用言語	履修している学生数	予習、復習、テスト等の成績評価についてアドバイスも含めて教えてください
1	environmental economics	Hakan Eggert	3-4/w	15	english	30	2ヶ月の授業であるため、生徒同士、また先生とも仲良くなった。たまに先生と生徒で飲みに出かけるほどに。テストは基本+応用で難しい。
2	environmental politics	Niklas Harring	1-2/w	7.5	english	40	授業がある日はプレゼン中心のセミナーとレクチャーが2時間ずつあり、集中力が切れる。コーヒー休憩でリフレッシュできる。テストは基本的。
3	Basic Swdeish	Kerstin Berger	1/w	7.5	english swedish	30	毎回宿題があり、A1という一番優しいクラスのはずだが、そんなことはない。割と難しいため復習が必要なことも。対話が中心のため楽しい。
4							

・授業(カリキュラム等)について クラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

6.スウェーデンの授業の特徴として、クラスのサイズは比較的小さく、グループワークと個別の学習のバランスが保たれている。そのためクラスメートと良い関係が築かれ、教授とのコミュニケーションも容易。授業内での質問や議論はとても歓迎され、自分の意見を表現する機会が多く設けられている。意見に関してはコメントや簡単な質問であっても決して疎まれることないため教育レベルの高い雰囲気であると感じる。また日本では〇〇さんはどう考えますかなど全員の意見を順番に聞いていくのに対し、グループ内で自分の意見を主張するために機会を掴む必要がある。成績評価は、記述式テストやエッセイ、プレゼンテーションなどが組み合わせ。ただ知識を暗記するだけでなく、理解し、応用する、もしくは自分の言葉で書き換えるなど単にレジュメを眺めるだけだと対応できないテストである。共に学ぶ学生は社会的で協力的であり、異なるバックグラウンドを持つクラスメートとのグループワークは時に難しいこともあるが、異なる視点からのアイデアを共有し、より実践的な能力につながっていると感じた。

4-3 一週間のスケジュール 授業時間、課外活動等、毎日の生活を記入してください。

	月	火	水	木	金	土	日
8:00							
9:00	授業				グループワーク	旅行	旅行
10:00		アイスホッケー練習	授業	図書館で勉強			
11:00							
12:00							
13:00	fika				fika		
14:00							
15:00							
16:00							
17:00							
18:00		ご飯会	パトミン	アイスホッケー観戦	ご飯会		
19:00							
20:00							
21:00							
22:00							
23:00							